

人類と核兵器は共存できない！

～平和は最大の公衆衛生～



原水爆禁止2026年世界大会が8月4日～6日にかけて広島で開催されました。大阪きづがわ医療福祉生協からも3人の職員が参加されました。

被爆81年を迎えた広島には海外から政府代表や市民運動団体、日本からもたくさんの方が参加し、核兵器廃絶の目標に共同して運動を広げようと確認しました。

6日に行われたヒロシマデー集会で、日本の女性医師の方が壇上で「核兵器が使われれば医療は機能しない、核兵器に対する最大の医療は『予防』、核兵器をなくすことです。『平和は最大の公衆衛生』です」と話されました。

広島での平和記念資料館の対話ノートには海外から

来館された方々も多く記帳していくそうです。そのなかに「I'm so sorry!」という言葉も多く書かれていると聞きました。原爆を投下した自国の歴史教育で「原爆は戦争を早く終わらせるために必要だった」と習ってきた人々が、資料館で見た現実を前に強いショックを受け、その認識を覆された思いがそのノートには書かれています。

対話し、核被害の実相を伝え、知ってもらうことがすごく大事だということを女性医師の方のお話や平和記念資料館の対話ノートは物語っていると思います。

齎し合いである「核抑止」に頼るのではなく、核兵器禁止条約への参加を政府に求めていく運動(署名や対話)をこれからも広げていきましょう。

(左から)大正 伊藤さん、港 中野さん、西成 工藤さん

医療費の支払いでお困りの方一度ご相談ください 必要な診察・治療を受けていただく事が何よりも大切です

無料低額診療事業 実施診療所

- ・みなと生協診療所・たいしょう生協診療所(医科・歯科) TEL.06-6571-5594
- ・ながほり通り診療所・西成民主診療所 TEL.06-6554-1197(医)/TEL.06-6554-8841(歯)
- ・なごり通り診療所 TEL.06-6533-0106
- ・西成民主診療所 TEL.06-6659-1010

倉澤先生、ありがとう

～倉澤高志先生の想いをつなぐ会～

7/26(日)、港区民センターにて『倉澤高志先生の想いをつなぐ会』を開催しました。当日は約200名の方が参加、先生と関わりのあった大勢の方が集まりこれまでの歩みや思い出を振り返ることが出来ました。先生がこれまで築いてこられた歩み、その思いを受け継ぎながらこれからもこの地域での活動を続けていきたいと思ひます。

倉澤先生のご功績に改めて感謝するとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

倉澤高志先生の想いをつなぐ会 実行委員会



編集部 だより

はじめまして。西成エリアのケアプランセンターさくらでケアマネジャーとして勤務しております、北浦です。

現在は西成区を中心に、浪速区、阿倍野区、大正区を担当し、利用者様やご家族に寄り添いながら、その人らしい暮らしを支えるための日々の支援に取り組んでおります。利用者様から「ありがとう」と感謝の言葉をいただいた時や、安心して在宅生活を続けられる姿を拝見するたびに、この仕事のやりがいと責任を実感しています。

このたび、機関紙「みらい」の編集担当の一員に加わるようになりました。法人の取り組みや魅力を、より多くの組合員の皆さまに分かりやすくお伝えできるよう、情報発信に努めてまいります。また、地域や利用者の皆さまとのつながりを大切にしながら、機関紙を通じて法人への理解を深め、より身近に感じていただけるよう取り組んでまいります。

組合員の皆さまに「読んでよかった」「次号も楽しみ」と思っただけの機関紙を目指し、親しみやすく役立つ情報をお届けしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



北浦です、よろしくお願いします。

西成民主診療所
ケアプランセンターさくら
北浦 豊啓

167
今月の
いちまい

理事会報告

第1回 理事会

日時 2026年7月18日[土]午後2時30分～午後5時
場所 地域交流センター 大正晴ればれ
出席 理事 25名/28名中 監事 2名/3名

常務会議事・主要項目 協議事項

- (1) 経済状況と国民生活への多大な影響と医療福祉生協の取り組み
- (2) 核兵器廃絶に向けた署名活動等について
- (4) 第15回通常総代会の結果について
 - ① 総代定数250人中、実出席 202名、書面出席 45名、合計 247名の出席
 - ② 各議案について賛成多数で採択
- (6) 各委員会報告
 - ・健康づくり委員会：リハビリ学校(仮称)開催に向けて
 - ・医療福祉生協の健康習慣改定について
 - 『医療福祉生協の健康習慣』8つの生活習慣と2つの健康指標が改定
 - ・原水禁大会派遣カンパ活動
- (7) 医療福祉生協連・大阪府生協連・民医連・他団体
 - ・2026年度の医療・介護評価アンケートの準備

第1回定例理事会 協議承認事項

- 第1号議案：6月度の事業活動報告の件
- 第2号議案：役員報酬配分の件
- 第3号議案：2026年度組合員交流集会の件 2026年9月27日(日)午後予定
- 第4号議案：新春学習互礼会開催日程承認の件 2027年1月9日(土)午後6時
- 第5号議案：1件100万円以上の固定資産の取得、改造、修理及び処分に関する事項の件
 - ▷港エリア：みなと生協診療所 心電計の購入
- 第6号議案：医療福祉生協連主催 介護実務者研修受講申し込みの件
- 第7号議案：大阪きづがわ医療福祉生協奨学金借り入れ申し込みの件

各報告承認事項について

次回 第2回定例理事会日程
8月22日[土]午後2時30分～午後5時
地域交流センター 大正晴ればれ



照る日曇る日

西成民主診療所 前所長 小児科医 大里 光伸

京都にいたころ、地藏盆は子どもにとって楽しみの一つであった。退屈な数珠回しのあとで出される駄菓子待ち遠しく、念仏の「なんまいだ」が、甘いせんべいが「何枚だ」と聞こえたものだ(笑)。大阪では、京都ほど盛んではなく、夏の終わりがなんとなく寂しい思いがしていた。大阪も地域で濃淡があるらしく、西成では地藏盆は、けっこう賑やかだ。コロナ禍以前の話だが、診療所近くのお地藏さんではこんなこともあり、文章に綴った。

「病児保育のある建物の前身は『富士見』という喫茶店でした。オーナーは独居で、糖尿病で療養中、低血糖発作を何回も起こしましたが、その都度、奇跡の生還!だから『ふじみ』なんだと納得していました。喫茶店の中は昭和30年台にタイムスリップしたような雰囲気、薄暗い白熱電球が一つついていて、テーブルの横に、鳴らなくなったジュークボックスが一台(造船所があった頃は、仕事帰りの労働者がこのジュークボックスに殺到、笑いが止まらぬほど儲かったそうです)。入れてくれるコーヒーはとびきり濃い味で、ポツリポツリと話す故郷・北海道の事を聞きながら、いつも飲

んでいました。いつしか時が経ち、その彼女も『不死身』ではなくなり、形見として喫茶店の土地を医療生協に寄贈するとの遺言の後、静かに世を去りました。法人(当時は西成医療生協)ではその後、彼女の名前を採って『アイぶらん』と名前を付け、事業計画を進めました。(のちに、病児保育室、組合員など各種会議室や、現在は休止中だが、デイサービスを開設)喫茶店の敷地内には、お地藏さんが祀られていましたが、建物が完成した今となっては、それだけは『富士見』を偲ぶ縁(よすが)でしょうか、地藏盆の季節になると近所の子どもたちが集まってきました。」

地藏盆が過ぎると、秋は足早にやってくると昔は言われていたが、今年はどうだろうか?

写真は、2010年の地藏菩薩の飾り付け。



組合員の
声を届ける
虹の箱
WEB版

事業所利用委員会より アンケートご協力をお願い

事業所利用委員会は各事業所を安心して利用できるために、組合員・患者様・利用者様のご要望、ご意見を真摯に受けとめ、改善できるよう討議する場です。利用して困ったことや、「もっとこうすれば」と思うこと、職員への励ましの言葉も大歓迎です。また、ご記入いただいた内容を事業所利用委員会で討議し、事業所とも協議を行って事業所での掲示や機関紙で回答も行います。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

- 右記二次元コードをスマートフォンで読み取って回答してください。
- 当生協の各事業所へのご意見・ご要望をぜひお寄せください(匿名での回答です。2分ほどで回答が可能です)。



アレルギーってなんだろう? ⑤

ここまで、アレルギーってなんだろう?をテーマに、アレルギーのしくみや、主なアレルギー性疾患(アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、気管支喘息)についてお話ししました。最終回では、アレルギー反応を予防するための生活の工夫についてのお話しです。

アレルギー反応を誘発する物質(アレルゲン)はさまざまですが、特にダニやハウスダスト、カビは、部屋のなかに存在する身近なアレルゲンです。これらを吸い込んだり、鼻やのどの粘膜や、バリア機能の低下した皮膚にくっいたりすることで、アレルギー反応が引き起こされます。アレルゲンを生活環境のなかから全てなくすることはできませんし、過度に怖がりすぎる必要はありませんが、工夫によって増やさないようにするのが大切です。

①ダニ

生きているダニではなく、ダニのふんや死がい(破片)がアレルゲンになります。寝具やカーペット、畳などは掃除機でゆっくりと吸引しましょう。洗い流すことでも取り除けるので、寝具やカーテン、クッション、ぬいぐるみなどは家庭で洗濯できるものを選び、こまめに丸洗いの有効です。また、ダニの生育には温度と湿度が必要なため、寝具を乾燥させることも重要です。寝具を布団乾燥機や天日干しした後に掃除機をかけると、除去に効果的といわれています。

②カビ

カビの増殖にも温度と湿度が必要(25～30℃、湿度70%以上)ですので、ダニへの対

策と同じく、寝具や浴室・収納スペースなどを定期的に乾燥させることで減らすことができます。エアコンのフィルターも定期的に掃除しましょう。また、観葉植物の葉や土でも増えることがあるため注意してください。

③花粉や黄砂など

花粉や黄砂の多い時期には、天気予報などを参考にして、飛散量の多い日には洗濯物を部屋に干すようにしましょう。また、外出時は帽子やつるつるした素材の上着を選ぶと、花粉の付着を減らせます。外から帰ってきたらすぐに手洗いや洗顔をし、できればシャワーを浴びることで、付着した花粉や黄砂を落とせます。

もし、「これってアレルギーかも?」と思われる症状があったり、スキンケアや離乳食の進め方などで気になることがあったりした際には、お気軽にお近くの診療所へご相談下さいね。



※アレルギーに関する情報は、一般社団法人日本アレルギー学会が運営するアレルギーポータルサイト <https://allergyportal.jp/> もご参照下さい。

ながほり通り診療所
所長 田窪 翔子

原水爆禁止世界大会2026 参加者の感想

平和記念碑に込められた想い

8月4日から8月6日まで広島に行かせてもらいました。

1日目の開会総会では、様々な活動の報告を聞き、自分の知らない活動がたくさんあることを知りました。

2日目は、「分科会⑩ヒロシマの声を聞こう 平和記念碑巡り」に参加させてもらいました。

ガイドの方に1つ1つなぜこんな形なのか、どんな意味が込められているのかなどの解説をしてもらいながら平和記念公園にある記念碑をめぐるしました。



その中でも印象に残った1つ平和の鐘のイラストの意味を紹介します。

病児保育室まっぼっくり

工藤 由加利



鐘の周りには、国境のない世界へという意味を込めて世界地図が描かれています。そして、鐘をたたく部分は原子核が分裂する模式図が描かれています。180度反対の部分は、鐘を撞いた人の心をイメージしているそうです。

この3日間を通して、被災された方がなぜ差別を受けるのか、悲惨さ、どういう意図があって建てられたものかなどたくさん学ぶことができました。とても考えさせられるきっかけとなりました。

同じ法人内でも部署が違っていると関わることが少ないため、お話を聞いたことも新鮮でした。

3日間行かせていただきありがとうございました。

ノーモアウオー

2026年原水爆禁止世界大会に実際に参加し、会場の熱気や参加者一人ひとりの平和への強い思いに触れ、忘れられない経験となりました。



被爆者の証言を直接聞き、核兵器が人々の命だけでなく、その後の人生や家族、地域社会にも深い傷を残すことを改めて実感しました。また、国内外から集まった多くの参加者が、それぞれの立場

で平和への願いを語る姿に大きな勇気をもらいました。

平和は願うだけでは実現せず、一人ひとりが学び、声を上げ、行動を続けることが大切だと感じました。この大会で得た学びをこれからの生活に生かし、戦争も核兵器もない世界の実現に向けて、自分にできることを行動に移していきたいと思えます。

No More War.

大阪きづがわ医療福祉生活協同組合
グループホームしおかぜ 中野 洋子

現地で知った真実と平和への決意

この度、原水爆禁止世界大会に参加させていただき、大変貴重な経験を得ることができました。ご協力、ご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

大会では、日本国内だけでなく、海外の水爆実験や戦争被害を経験された方々も参加されていました。今なお多くの方々が苦しんでいるという、報道だけでは決して知ることのできない厳しい現状を学びました。



分科会では岩国基地の調査に行き、米軍基地の広大な敷地や建物を目の当たりにしました。私たち

の税金がこれほどまでに投入され、戦争のための訓練や準備が進められている現実には強い疑問を抱かざるを得ませんでした。日本は「非核三原則」を掲げながら、米軍基地内で1998年まで核兵器組み立て作業所が存在したという歴史も知り、表と裏の矛盾を痛感しました。

すべての人がこれからも平和で安心して暮らせる社会を作るため、私はこれからも「戦争反対」「核兵器廃絶」を強く訴え続けます（写真は基地のすぐ横で撮影したものです。名産の蓮根畑に、蓮の花がとても綺麗に咲いていました）。



大正事務所
事務 伊藤 佐織

みんなで楽しく健康づくり！

「おおさかまるごと健康チャレンジ2026」に参加しませんか？

【申し込み】9月20日まで 【取り組み期間】10月～11月
【参加費】無料 【報告書締切】12月20日

申し込み
フォームは
こちら▶▶▶



今年も「おおさかまるごと健康チャレンジ2026」を実施します。健康づくりの第一歩として、毎日の生活習慣を見直し、無理なく楽しく健康づくりに取り組んでみませんか？

取り組み期間は10月～11月。生活リズムを整えて快適な睡眠をとる、十分な休養をとる、適度な運動を続ける、健康に配慮した食事をとるなど、8つの生活習慣と2つの健康指標を意識してチャレンジします。

一人での参加はもちろん、グループで励まし合いなが

らの参加も大歓迎！ ご家族やお友だち、職場の仲間など、みんなで楽しく取り組むことができます。報告書を提出した方には、個人賞としてボールペンなどのプレゼントもあります。ジュニアチャレンジもありますので、お子さんやお孫さんと一緒に参加してみたいかがでしょうか。

健康づくりは、日々の小さな積み重ねから。ぜひこの機会に、ご家族や仲間と一緒に「健康チャレンジ」を始めてみましょう！



